

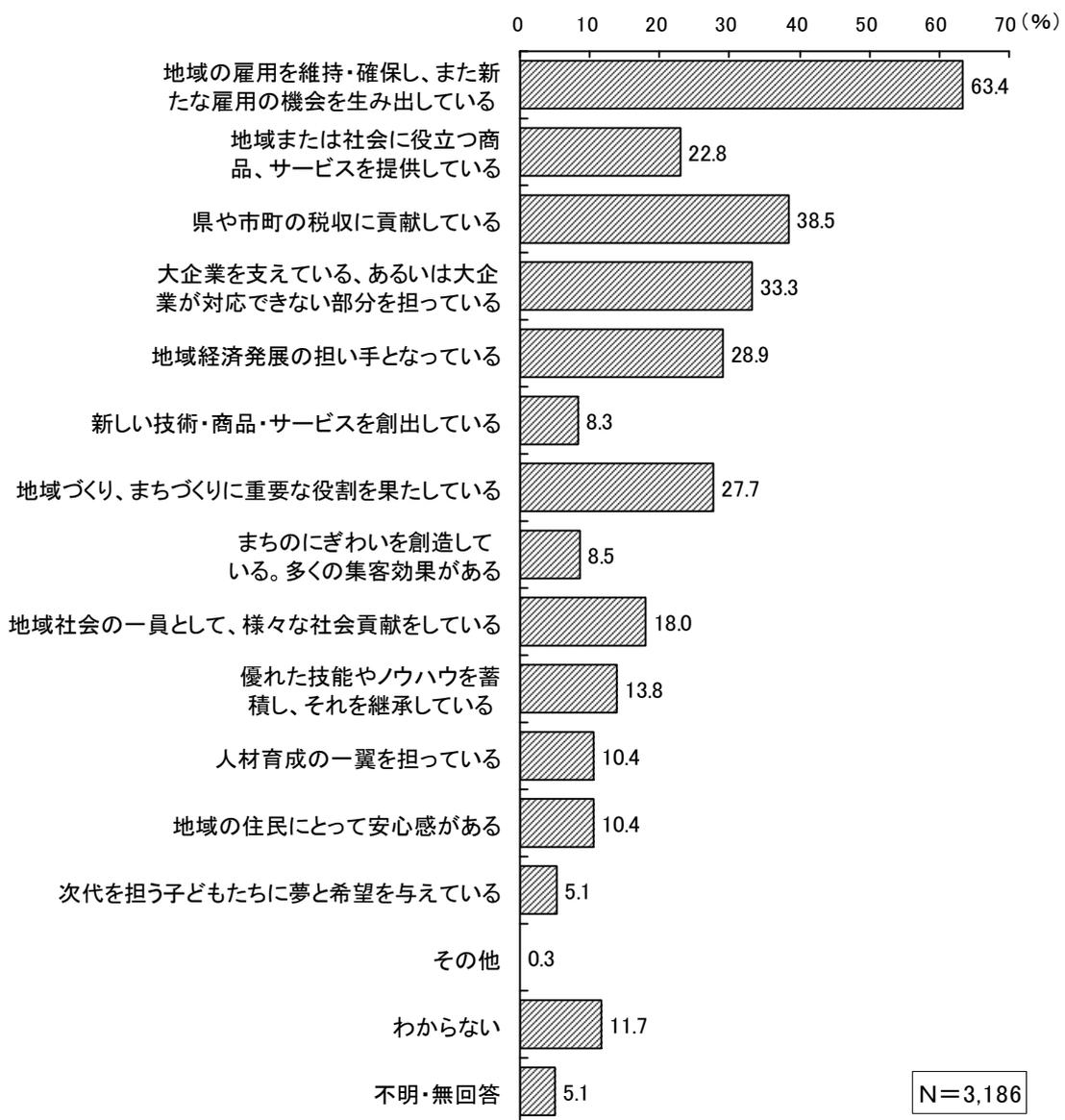
7. 県内の中小企業振興

(1) 県内中小企業の担う役割

問 34 あなたは、県内の中小企業がどのような役割を担っていると思いますか。(〇は5つまで)

◆「地域の雇用を維持・確保し、また新たな雇用の機会を生み出している」が63.4%

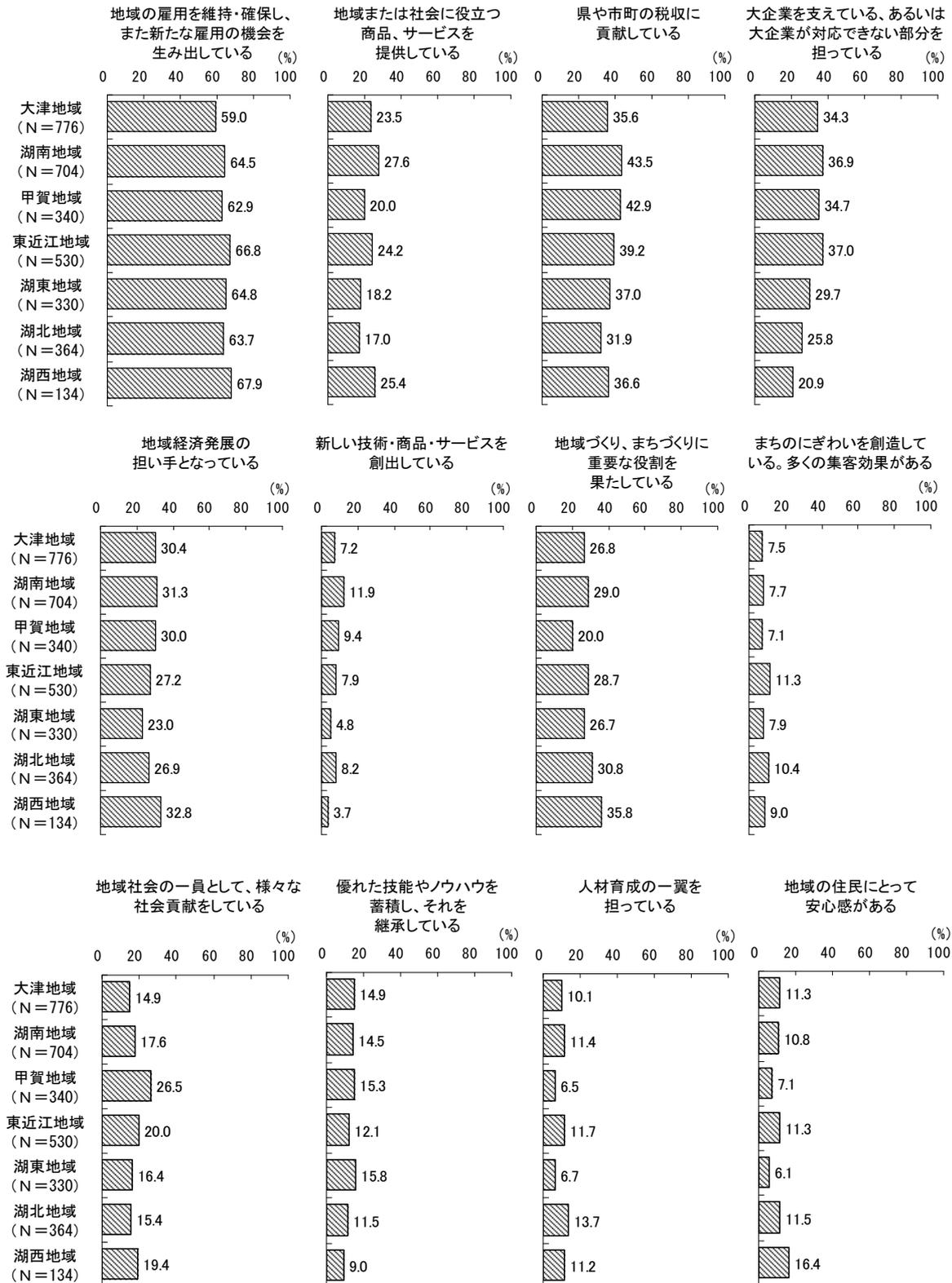
県内の中小企業が担っている役割は、「地域の雇用を維持・確保し、また新たな雇用の機会を生み出している」が63.4%で最も高く、次いで「県や市町の税収に貢献している」(38.5%)、「大企業を支えている、あるいは大企業が対応できない部分を担っている」(33.3%)の順となっている。

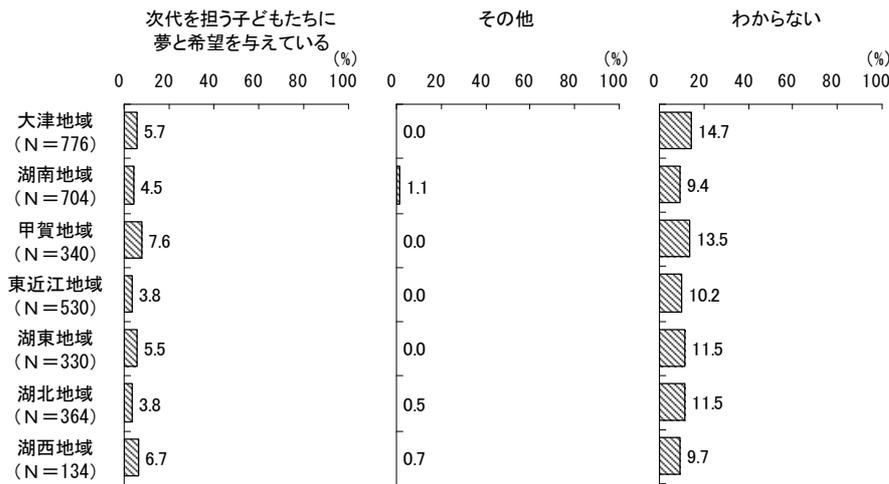


【地域別】

すべての地域で「地域の雇用を維持・確保し、また新たな雇用の機会を生み出している」が最も高く5割を超え、次いで「県や市町の税収に貢献している」が続いている。

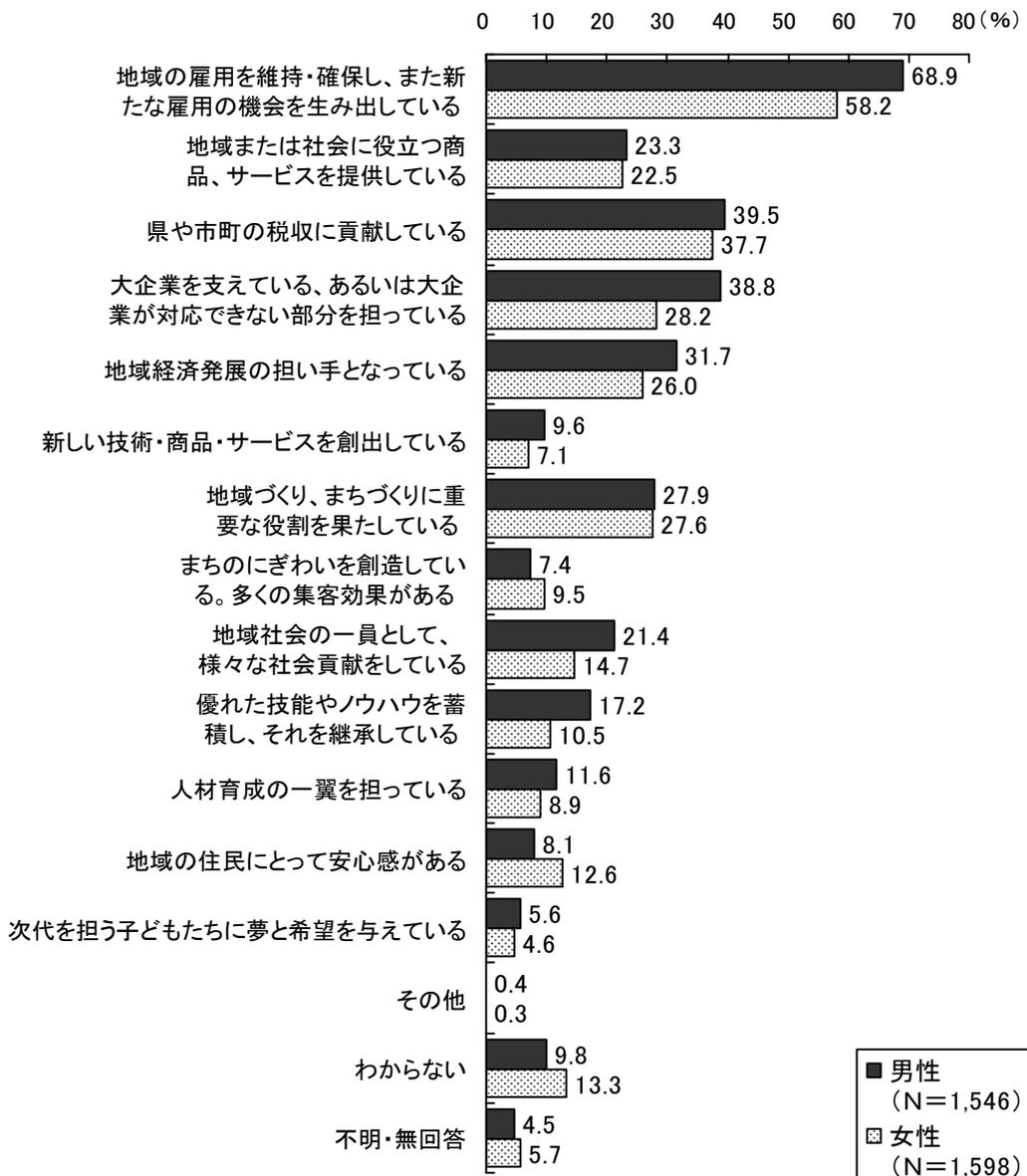
「大企業を支えている、あるいは大企業が対応できない部分を担っている」は、大津・湖南・甲賀・東近江地域で、「地域づくり、まちづくりに重要な役割を果たしている」は、湖西地域で他の地域に比べ高くなっている。





【性別】

男女とも「地域の雇用を維持・確保し、また新たな雇用の機会を生み出している」が最も高く、男性（68.9%）が女性（58.2%）に比べ10.7ポイント高くなっている。「まちのにぎわいを創造している。多くの集客効果がある」、「地域の住民にとって安心感がある」、「わからない」以外の項目では男性が女性を上回っている。



【性・年代別】

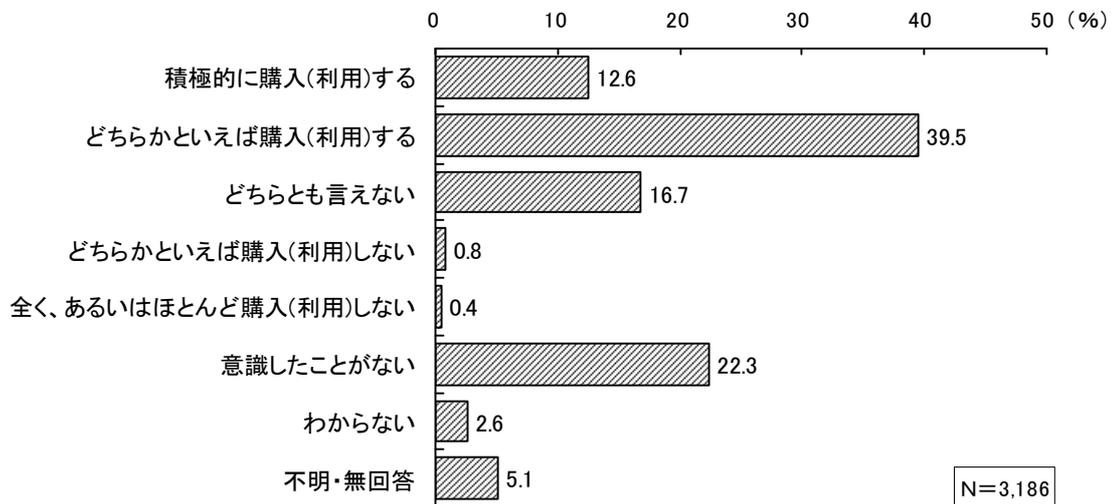
男女ともすべての年代で「地域の雇用を維持・確保し、また新たな雇用の機会を生み出している」が最も高く、男性の20～40・60歳代、女性の20～30歳代では「大企業を支えている、あるいは大企業が対応できない部分を担っている」が、男女ともその他の年代では「県や市町の税収に貢献している」が続いている。

(2) 県内生産品等の購入

問 35 あなたは、県内で製造・加工された物品あるいは県内で販売されているもの、または県内で提供されるサービスを意識して購入(利用)していますか。(○は1つまで)

◆「どちらかといえば購入(利用)する」が39.5%

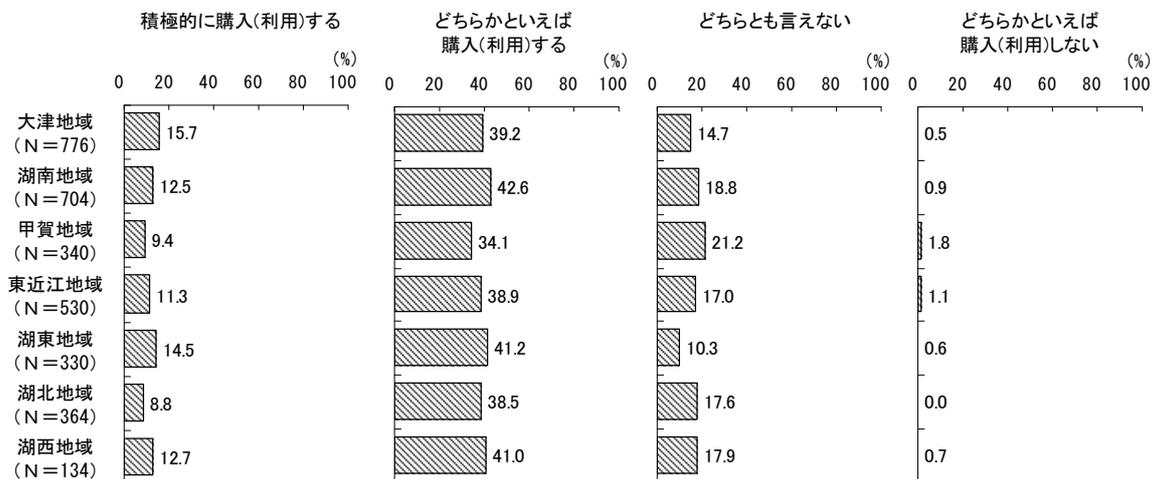
県内で製造・加工された物品あるいは県内で販売されているもの、または県内で提供されるサービスを意識して購入(利用)するかどうかについては、「どちらかといえば購入(利用)する」が39.5%で最も高く、次いで「意識したことがない」が22.3%となっている。

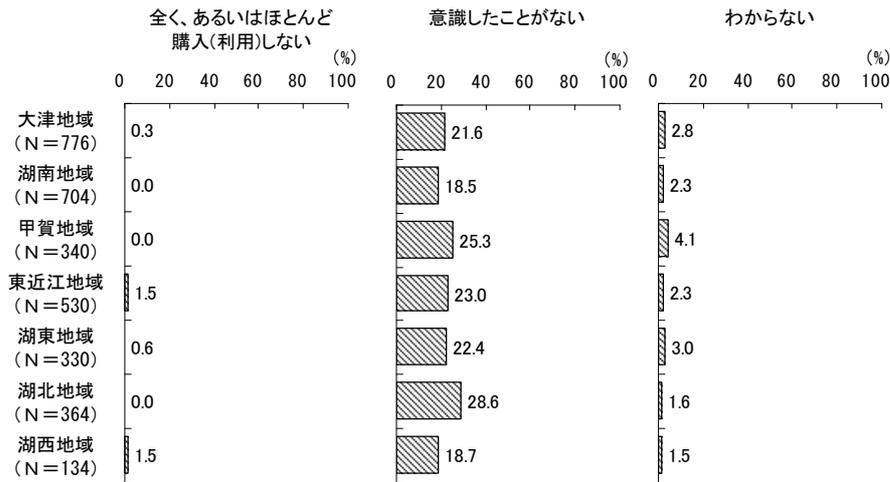


【地域別】

すべての地域で「どちらかといえば購入(利用)する」が最も高く、次いで湖南地域では「どちらとも言えない」が、その他の地域では「意識したことがない」が続いている。

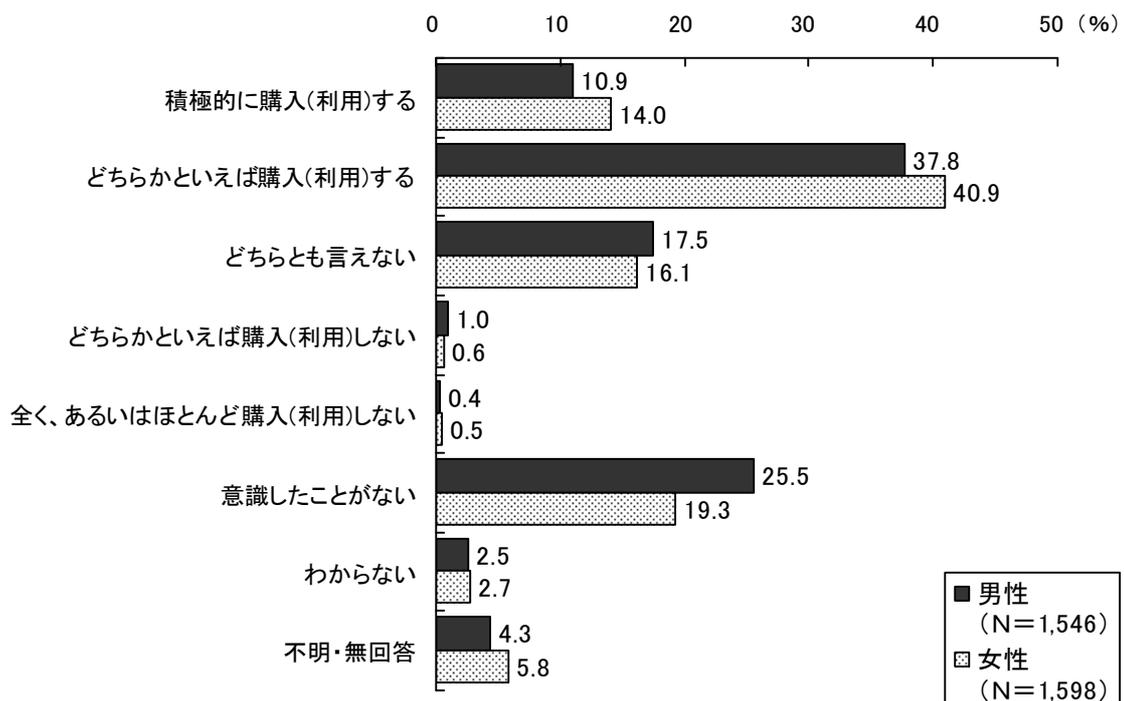
「意識したことがない」は、湖北地域で28.6%と他の地域に比べて高くなっている。





【性別】

男女とも「どちらかといえば購入（利用）する」が最も高く、次いで「意識したことがない」の順となっている。「積極的に購入（利用）する」「どちらかといえば購入（利用）する」とも男性より女性の方が高くなっている。



【性・年代別】

男性の20歳代では「意識したことがない」が、男性のその他の年代と女性のすべての年代では、「どちらかといえば購入（利用）する」が高くなっている。

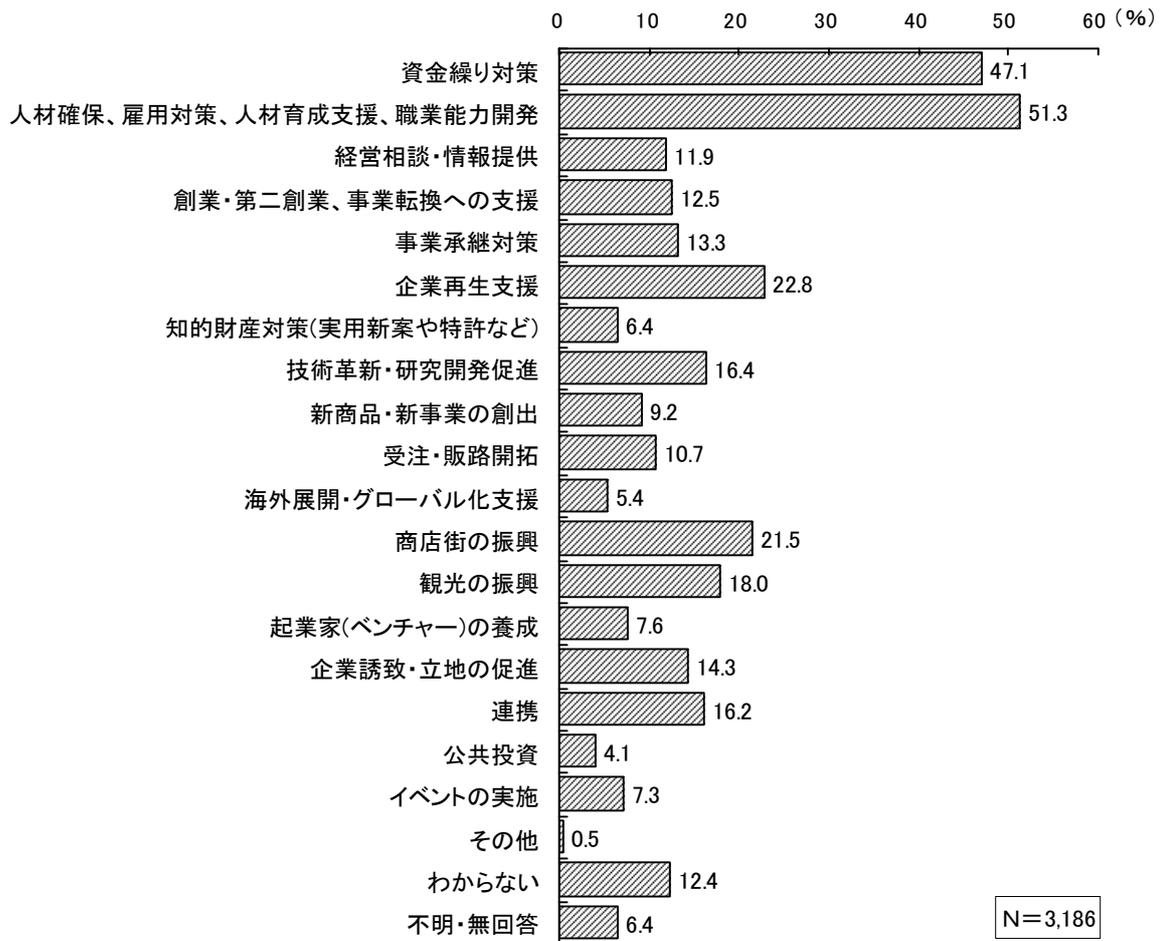
「積極的に購入（利用）する」は男女とも70歳以上で最も高く2割を超えている。

(3) 中小企業振興に必要な施策

問 36 現在、県では中小企業を振興するためのあり方を検討していますが、中小企業に関する施策として、何が必要であると思いますか。下記のうち優先度の高いものを選んでください。(〇は5つまで)

◆「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が51.3%

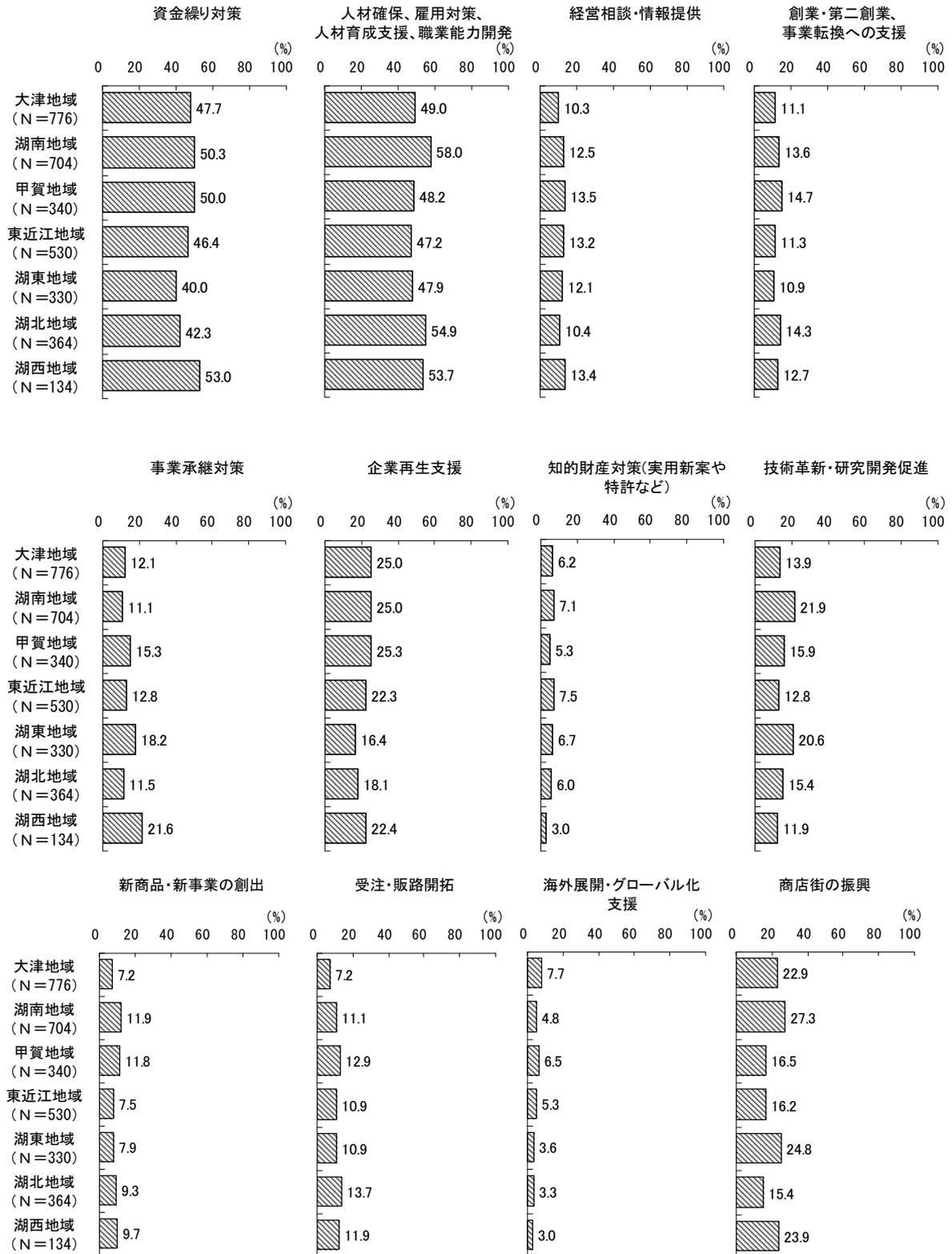
「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が51.3%で最も高く、次いで「資金繰り対策」が47.1%で、この2項目が大部分を占める。

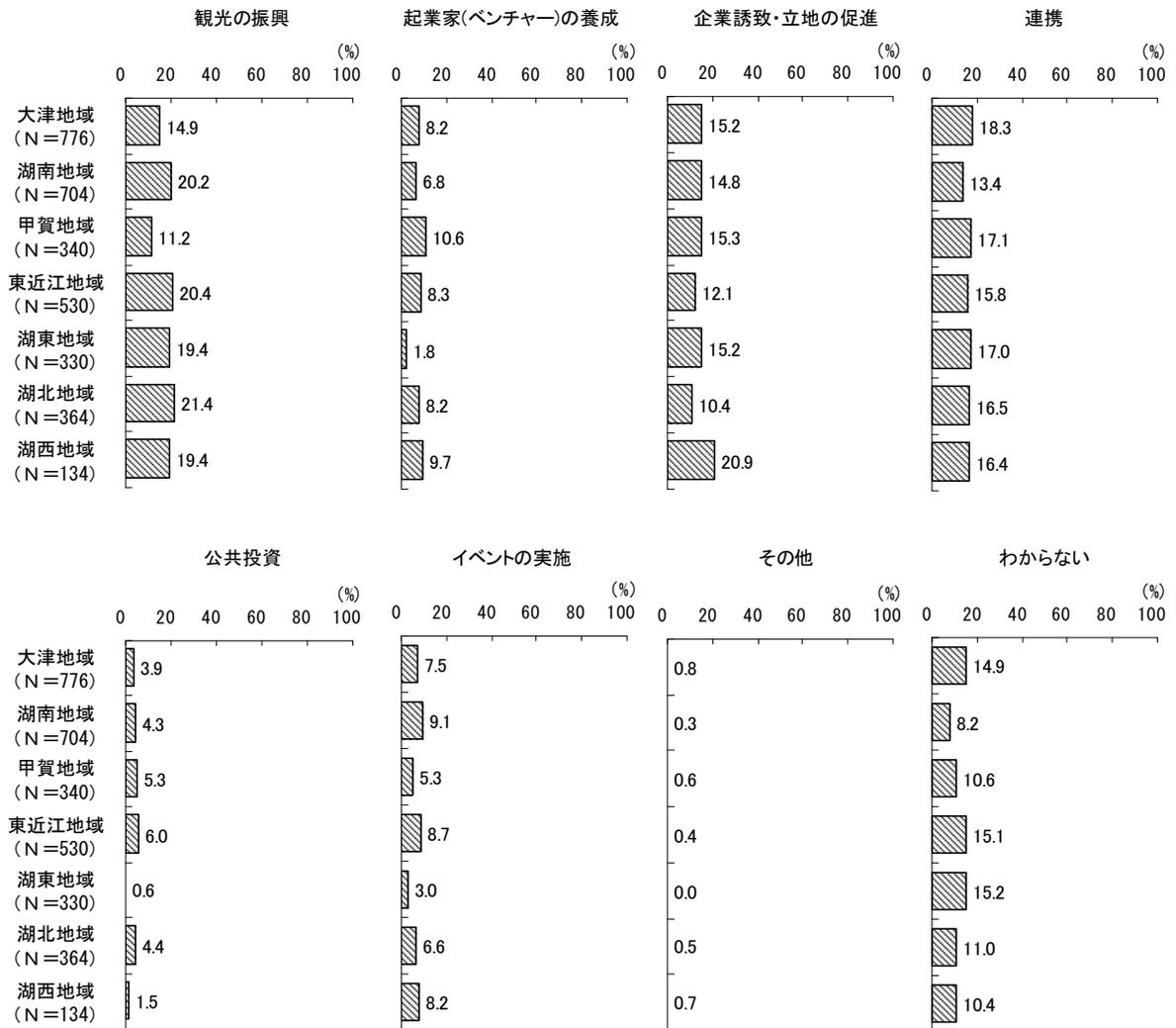


【地域別】

甲賀地域では「資金繰り対策」が、その他の地域では「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が最も高くなっている。

「事業承継対策」は湖西地域で、「技術革新・研究開発促進」は湖南・湖東地域で、「商店街の振興」は大津・湖南・湖東・湖西地域で、「企業誘致・立地の促進」は湖西地域で他の地域に比べ高くなっている。

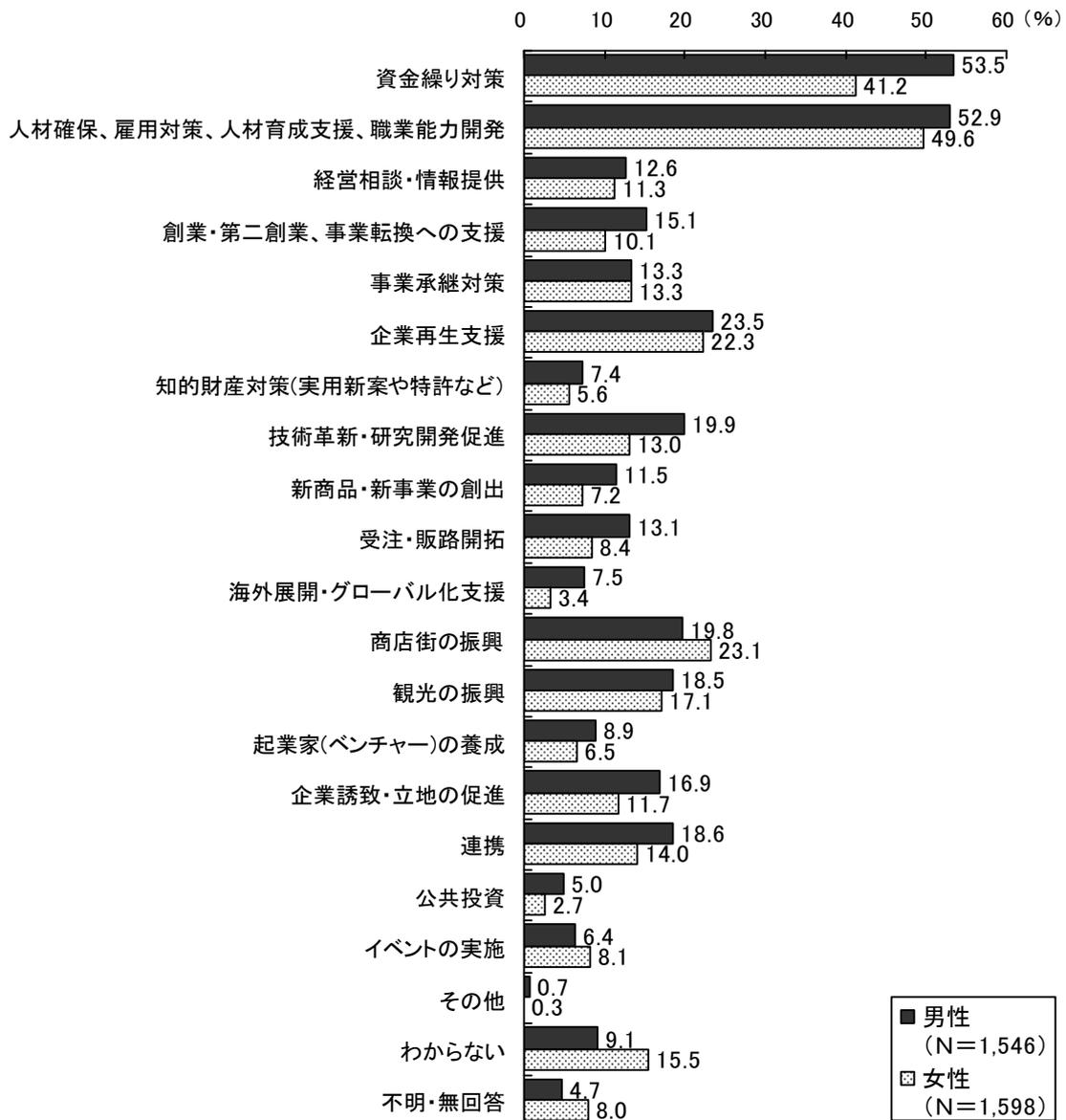




【性別】

男性は「資金繰り対策」が 53.5%で、女性は「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が 49.6%で最も高くなっている。

「資金繰り対策」は、男性（53.5%）が女性（41.2%）に比べて 12.3 ポイント上回っている。



【性・年代別】

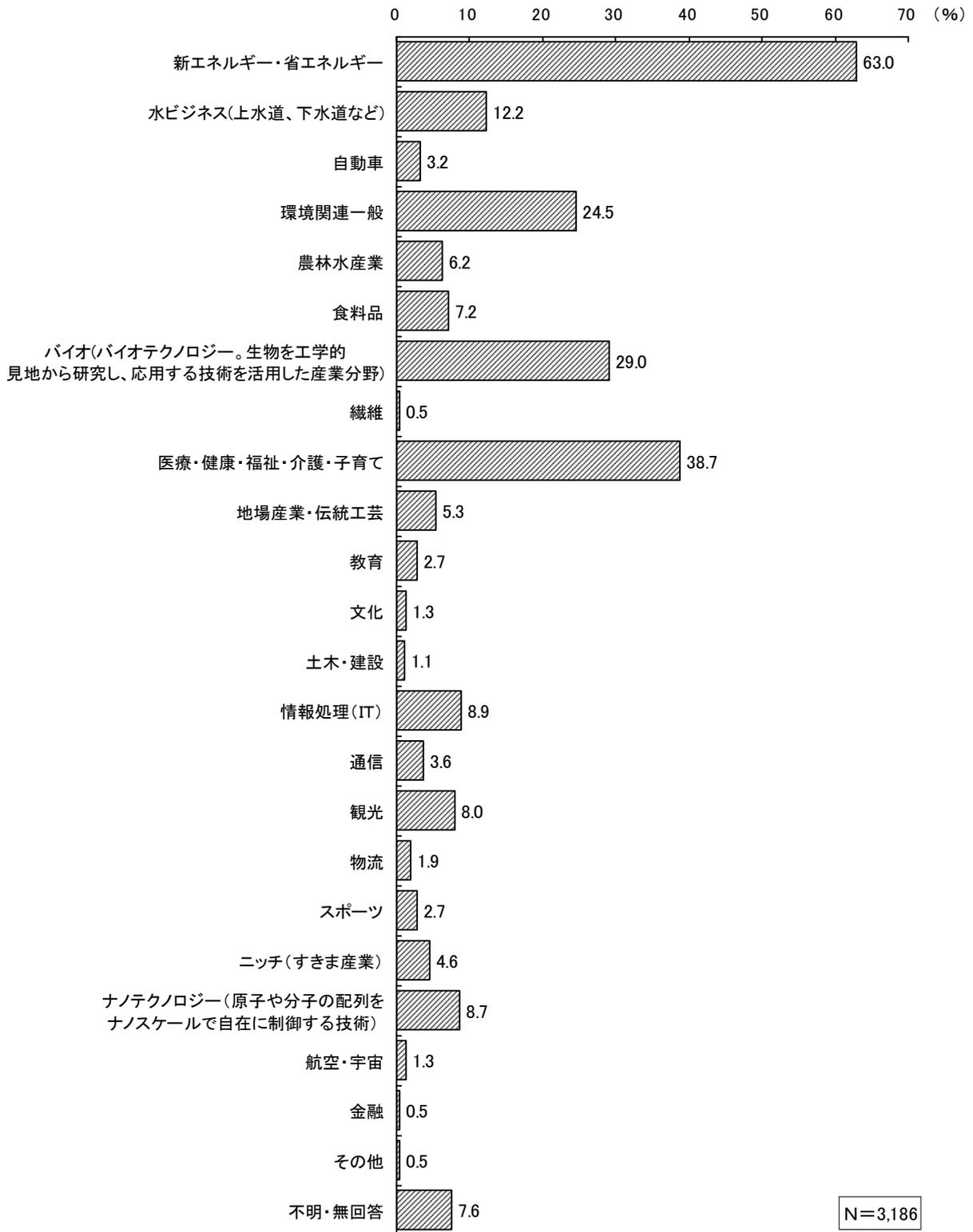
男性での 20 歳代では「資金繰り対策」と「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が同率で、男性の 30・60 歳代と 70 歳以上では「資金繰り対策」が、男性のその他の年代と女性のすべての年代では「人材確保、雇用対策、人材育成支援、職業能力開発」が最も高くなっている。

(4) 今後伸びる産業分野

問 37 あなたは、今後どういった分野が産業として伸びると思いますか。(〇は3つまで)

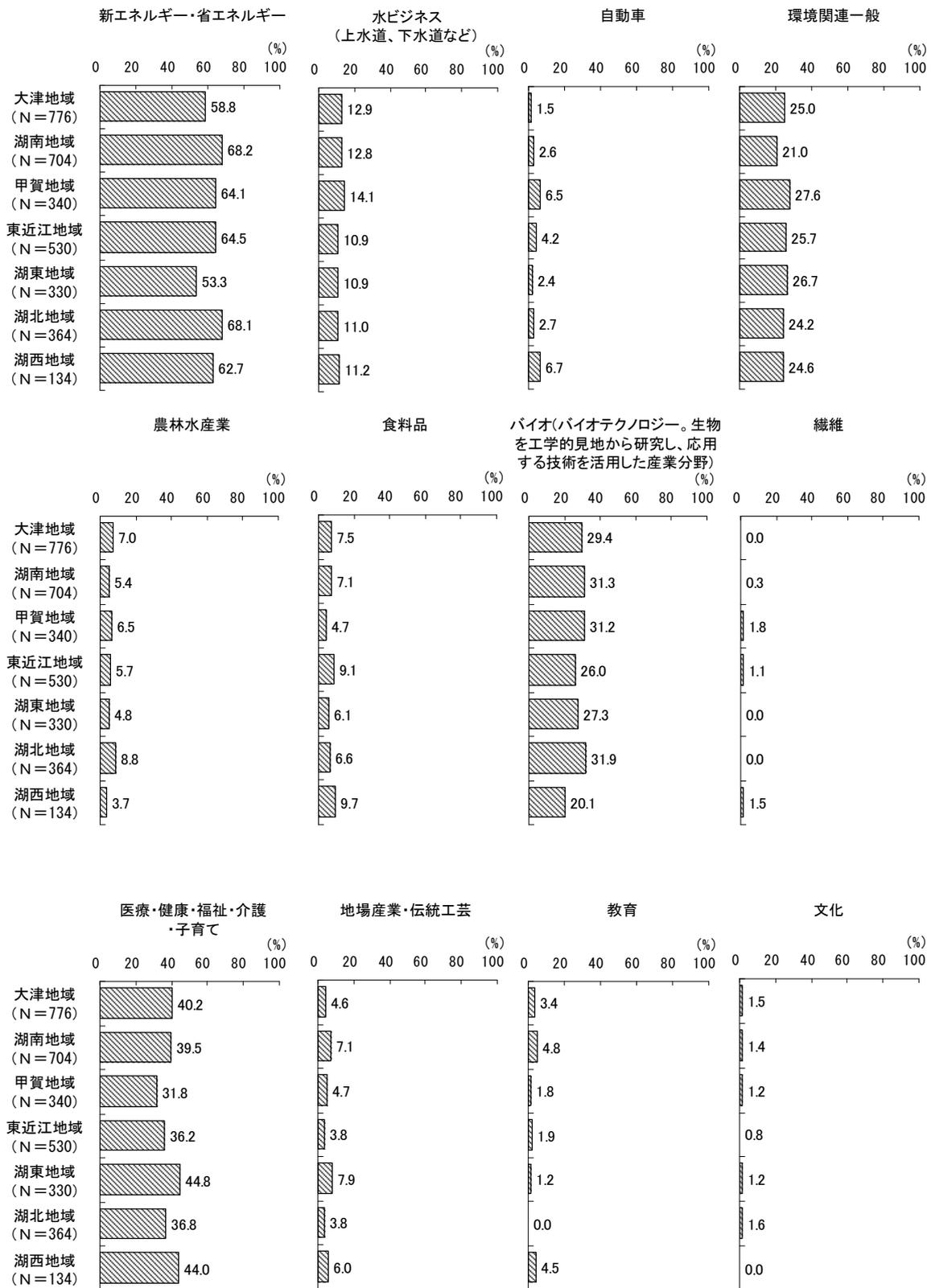
◆「新エネルギー・省エネルギー」が最も高く 63.0%

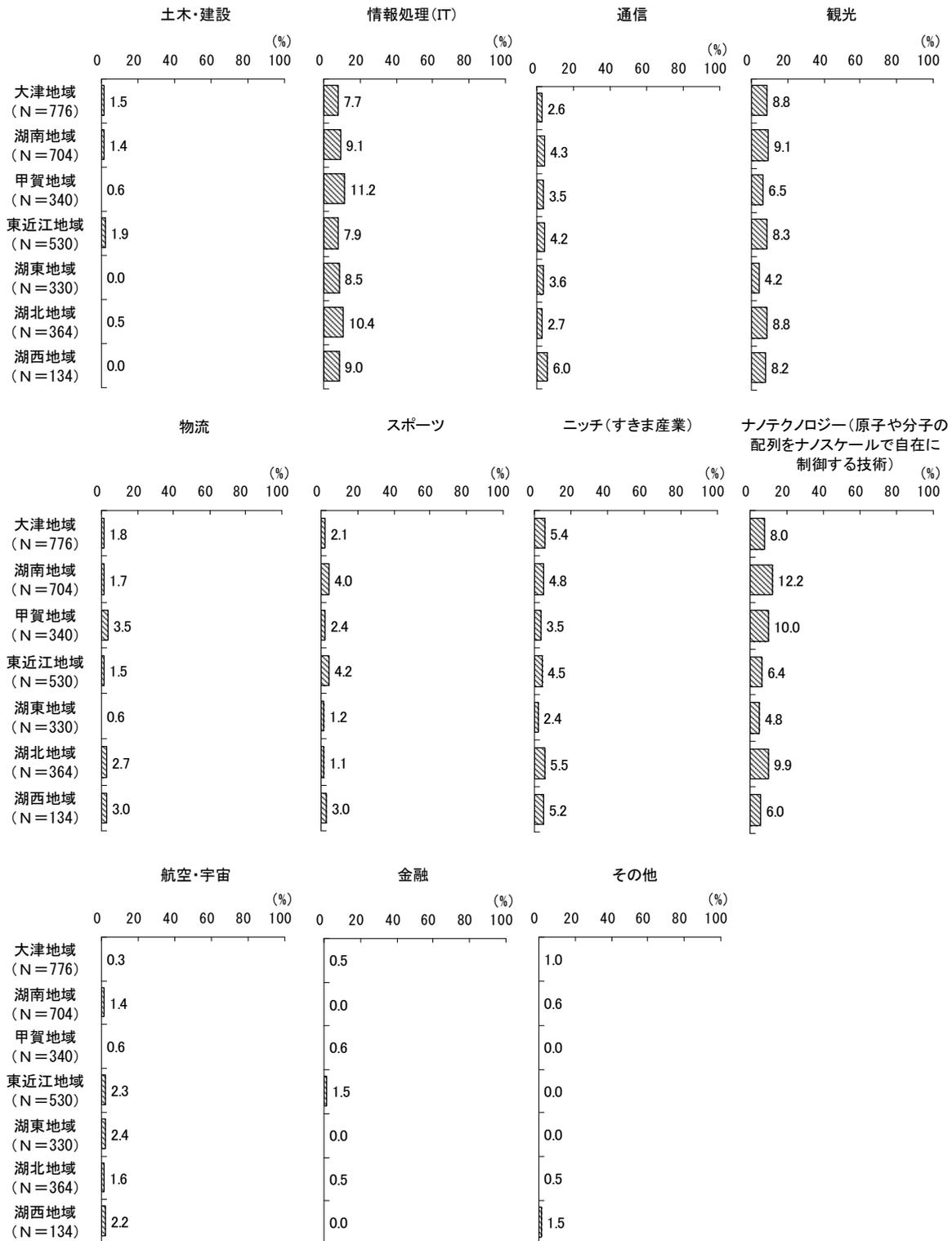
今後産業として伸びる分野は、「新エネルギー・省エネルギー」が最も高く 63.0%。次いで「医療・健康・福祉・介護・子育て」(38.7%)、「バイオ(バイオテクノロジー。生物を工学的見地から研究し、応用する技術を活用した産業分野)」(29.0%)の順となっている。



【地域別】

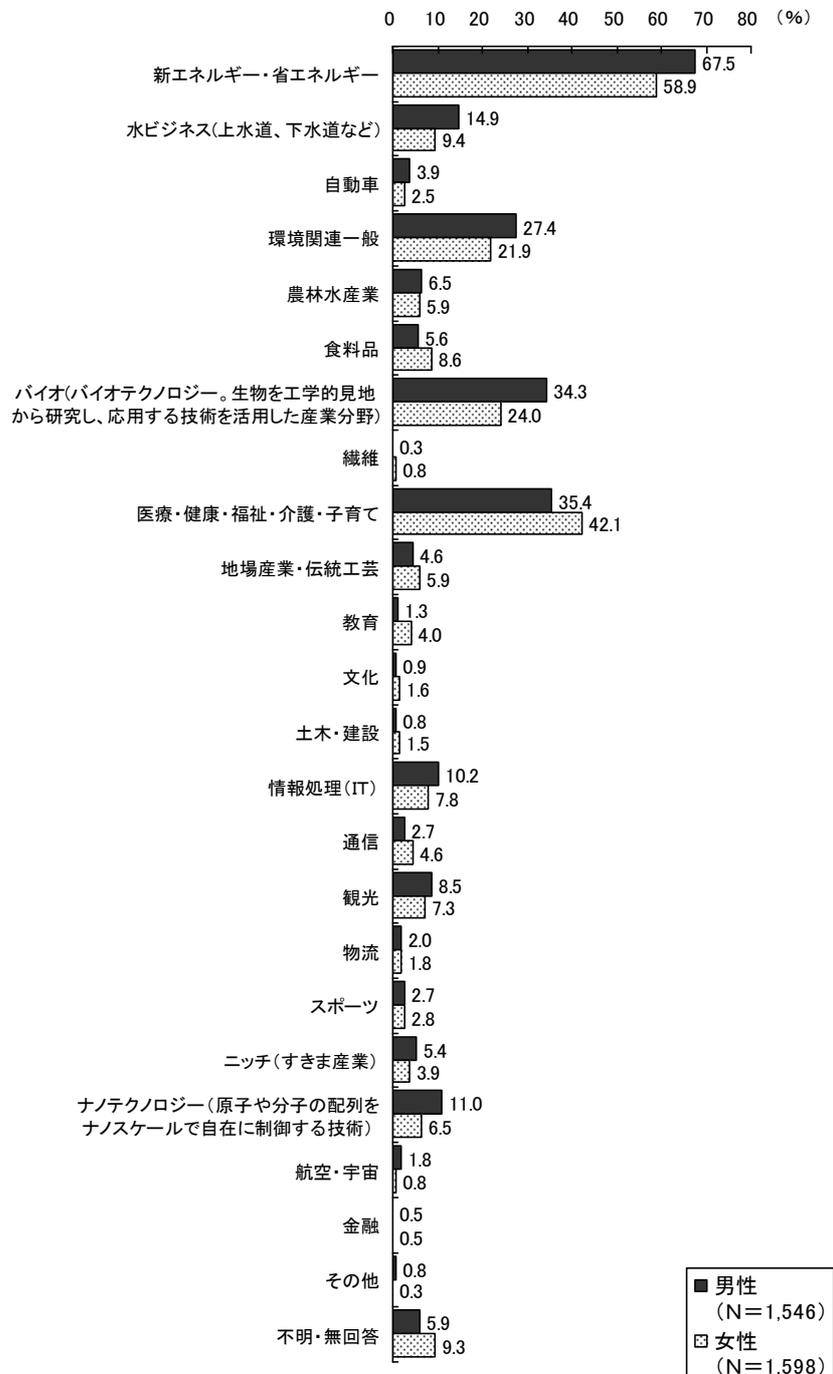
すべての地域で「新エネルギー・省エネルギー」が最も高く5割を超え、次いで「医療・健康・福祉・介護・子育て」が続いている。





【性別】

男女とも「新エネルギー・省エネルギー」が最も高く5割を超えており、男性67.5%、女性58.9%で、男性が女性を8.6ポイント上回っている。「バイオ(バイオテクノロジー。生物を工学的見地から研究し、応用する技術を活用した産業分野)」では男性(34.3%)が女性(24.0%)を10.3ポイント上回り、「医療・健康・福祉・介護・子育て」では女性(42.1%)が男性(35.4%)を6.7ポイント上回っている。



【性・年代別】

男女ともすべての年代で「新エネルギー・省エネルギー」が最も高くなっている。

「環境関連一般」は男性の40～60歳代で、「バイオ(バイオテクノロジー。生物を工学的見地から研究し、応用する技術を活用した産業分野)」は男性の50歳代と70歳以上で他の年代に比べて高くなっている。